



小学生・中学生 と考える わたしたちができる**適応!**

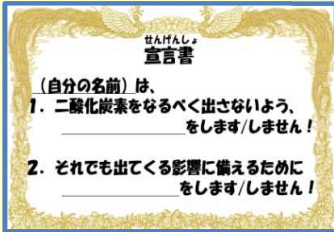
栃木県気候変動適応センターでは、環境省から受託している事業の一環として、県内の小中学校（小学校2、中学校1）で、気候変動に関する出前授業を行いました。

私たちの身の回りでもすでに起こっている「気候変動の影響」について学び、暮らしの中で取り組むことができる「適応策」などを考えました。

月
日直



～小学生～



変化してきた「気候」と「暮らし」について学び、日常生活で何ができるのか考え、自分が取り組むことを「宣言書」に記入して発表しました。



宇都宮市立
瑞穂野北小学校



那須塩原市立
西小学校

～授業の感想～

- ❗昔と今では、気温も違うし、季節の変わり方も違うことが分かって、とても勉強になった。
- ❗100年後という想像できないことまで知れて、おもしろかった。このような授業をまたやってほしい。
- ❗今の日本がどのような状態にあるかわかりました。気候変動の言葉の意味はしらなかったけど、説明を聞いてとてもよくわかりました。
- ❗地球の気候が、少しずつ変化しているのは知っていたけれど、気温が何℃上がったなどわしくはしなかったから勉強になった。
- ❗今まで自分たちで対策できることはあまりないと思っていたけれど、できることはたくさんあることがわかりました。
- ❗今日習ったことをもとに、学校でも、家でも行動したいと思った。

～中学生～

気候変動で何が起きているのかを学び、どのような“適応策”が考えられるか、グループごとに話し合いました。



真剣に
話し合っている
まる♪♪



那須塩原市立
高林中学校

～授業の感想～

- ❗気候変動は、気温などが変化するだけと簡単に考えていましたが、自分達にも大きくかわることが分かりました。
- ❗緩和策や適応策を考えて、将来の気候変動に備えていきたいです。
- ❗自然への影響だけでなく、産業・経済活動、県民生活など、たくさんの影響があることを知りました。
- ❗前は少し他人事のように思っていたけれど、授業を受けて一人一人が対策、行動していくことが大切だということを感じた。

